

# 2022年3月期第1四半期 決算補足資料

## 【業績情報(IFRS)】

### 第1四半期連結<<累計期間>>

1. 連結損益の詳細(フルベース)
2. 連結損益の詳細(コアベース)
3. 為替レート of 状況
4. フルベースからコアベースへの調整表
5. 地域別売上収益
6. 設備投資・償却費の状況
7. 主要製品の売上
8. 連結財政状態計算書

## 【開発品情報】

### 新薬開発状況

#### (注意事項)

この資料に記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラスの業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害などがありますが、これらに限定されるものではありません。また、この資料に含まれている医薬品(開発中のものを含む)に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

## 【業績情報(累計期間)】

### 1. 連結損益の詳細(フルベース)

(単位:億円)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	3,070	3,261	192	6.2%
売上原価	597	622	26	4.3%
(売上収益比率)	19.4%	19.1%		
売上総利益	2,473	2,639	166	6.7%
販売費・一般管理費	1,208	1,371	163	13.5%
(売上収益比率)	39.3%	42.0%		
内、広告費・販売促進費	105	141	36	34.2%
内、米国XTANDI共同販促費用	315	345	30	9.4%
内、人件費	457	490	33	7.3%
内、その他	331	395	64	19.5%
研究開発費	573	583	10	1.8%
(売上収益比率)	18.7%	17.9%		
無形資産償却費	59	60	1	1.8%
持分法による投資損益	-0	3	3	-
その他の収益	22	4	-18	-82.0%
内、為替差益	11	3	-8	-70.5%
その他の費用	48	271	223	465.2%
内、減損損失	33	261	228	690.7%
営業利益	608	361	-247	-40.7%
(売上収益比率)	19.8%	11.1%		
金融収益	4	15	11	284.3%
金融費用	10	17	8	79.6%
税引前四半期利益	602	358	-244	-40.5%
(売上収益比率)	19.6%	11.0%		
法人所得税費用	98	51	-47	-47.7%
四半期利益	504	307	-197	-39.1%
(売上収益比率)	16.4%	9.4%		
四半期包括利益	554	362	-192	-34.7%

21/3期 通期	22/3期 期初予想	22/3期 修正予想	増減率 (対21/3期)
12,495	13,230	13,230	5.9%
2,461			
19.7%			
10,035			
5,043	5,410	5,410	7.3%
40.4%	40.9%	40.9%	
606			
1,202			
1,822			
1,414			
2,245	2,420	2,420	7.8%
18.0%	18.3%	18.3%	
238			
5			
76			
-			
1,230			
1,017			
1,361	2,650	2,270	66.8%
10.9%	20.0%	17.2%	
116			
23			
1,453	2,630	2,250	54.8%
11.6%	19.9%	17.0%	
247			
1,206	2,090	1,830	51.8%
9.7%	15.8%	13.8%	
1,815			

2. 連結損益の詳細（コアベース）

（単位：億円）

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	3,070	3,261	192	6.2%
売上原価	597	622	26	4.3%
(売上収益比率)	19.4%	19.1%		
売上総利益	2,473	2,639	166	6.7%
販売費・一般管理費	1,208	1,371	163	13.5%
(売上収益比率)	39.3%	42.0%		
内、広告費・販売促進費	105	141	36	34.2%
内、米国XTANDI共同販促費用	315	345	30	9.4%
内、人件費	457	490	33	7.3%
内、その他	331	395	64	19.5%
研究開発費	573	583	10	1.8%
(売上収益比率)	18.7%	17.9%		
無形資産償却費	59	60	1	1.8%
持分法による投資損益	-0	3	3	-
営業利益	634	628	-6	-0.9%
(売上収益比率)	20.6%	19.3%		
金融収益	4	15	11	284.3%
金融費用	10	17	8	79.6%
税引前四半期利益	628	626	-2	-0.4%
(売上収益比率)	20.5%	19.2%		
法人所得税費用	108	133	25	23.3%
四半期利益	520	492	-27	-5.3%
(売上収益比率)	16.9%	15.1%		

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
12,495	13,230	5.9%
2,461		
19.7%		
10,035		
5,043	5,410	7.3%
40.4%	40.9%	
606		
1,202		
1,822		
1,414		
2,245	2,420	7.8%
18.0%	18.3%	
238		
5		
2,514	2,700	7.4%
20.1%	20.4%	
116		
23		
2,606		
20.9%		
507		
2,099	2,130	1.5%
16.8%	16.1%	

3. 為替レートの状態

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	21/3 期末	21/6 期末
USD/円	108	109	111	111
EUR/円	118	132	130	132

21/3期 通期	22/3期 期初予想
106	110
124	130

注1：為替レートの変動の影響：売上収益136億円増加、コア営業利益61億円増加

注2：未実現利益消去に係る為替の影響：売上原価率+0.1ppt

## 4. フルベースからコアベースへの調整表

(単位:億円)

	21/3期 1Q			22/3期 1Q		
	フルベース	調整	コアベース	フルベース	調整	コアベース
<b>売上収益</b>	<b>3,070</b>	-	<b>3,070</b>	<b>3,261</b>	-	<b>3,261</b>
売上原価	597	-	597	622	-	622
<b>売上総利益</b>	<b>2,473</b>	-	<b>2,473</b>	<b>2,639</b>	-	<b>2,639</b>
販売費及び一般管理費	1,208	-	1,208	1,371	-	1,371
研究開発費	573	-	573	583	-	583
無形資産償却費	59	-	59	60	-	60
持分法による投資損益	-0	-	-0	3	-	3
その他の収益*	22	-22	-	4	-4	-
その他の費用*	48	-48	-	271	-271	-
<b>営業利益</b>	<b>608</b>	<b>26</b>	<b>634</b>	<b>361</b>	<b>267</b>	<b>628</b>
金融収益	4	-	4	15	-	15
金融費用	10	-	10	17	-	17
<b>税引前四半期利益</b>	<b>602</b>	<b>26</b>	<b>628</b>	<b>358</b>	<b>267</b>	<b>626</b>
法人所得税費用	98	10	108	51	82	133
<b>四半期利益</b>	<b>504</b>	<b>16</b>	<b>520</b>	<b>307</b>	<b>186</b>	<b>492</b>

\* コアベースの実績では「その他の収益」及び「その他の費用」は除外されています。

「その他の収益」及び「その他の費用」には、有形固定資産の除売却に伴う損益、減損損失、リストラクチャリング費用、訴訟関係費用のほか、為替差損益などが含まれています。

5. 地域別売上収益

(単位: 億円)

		21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
外部売上収益		3,070	3,261	192	6.2%
	日本	778	675	-103	-13.2%
	(構成比)	25.3%	20.7%		
	米国	1,172	1,336	165	14.1%
	(構成比)	38.2%	41.0%		
	エスタブリッシュドマーケット	640	780	140	21.8%
	(構成比)	20.9%	23.9%		
	グレーターチャイナ	142	164	22	15.5%
	(構成比)	4.6%	5.0%		
	インターナショナルマーケット	302	278	-24	-8.1%
	(構成比)	9.8%	8.5%		
	その他	36	28	-8	-21.9%
	(構成比)	1.2%	0.9%		

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
12,495	13,230	5.9%
2,791	2,498	-10.5%
22.3%	18.9%	
4,732	5,446	15.1%
37.9%	41.2%	
2,932	3,319	13.2%
23.5%	25.1%	
593	638	7.7%
4.7%	4.8%	
1,111	1,227	10.4%
8.9%	9.3%	
336	101	-70.1%
2.7%	0.8%	

注1: エスタブリッシュドマーケット: 欧州、カナダ、オーストラリア

注2: グレーターチャイナ: 中国、香港、台湾

注3: インターナショナルマーケット: ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

6. 設備投資・償却費の状況

(単位: 億円)

		21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
設備投資額 (計上ベース)					
	連結	71	52	-19	-27.3%
減価償却費 (有形固定資産)					
	連結	100	99	-1	-0.6%
償却費 (無形資産 (ソフトウェア等含む))					
	連結	80	82	2	2.6%

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
337	360	6.8%
400	430	7.5%
327	390	19.4%

注: 設備投資額には、使用権資産を含めていません。

7. 主要製品の売上

1) グローバル

(単位:億円)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
XTANDI/イクスタンジ	1,120	1,329	210	18.7%
米国	627	684	57	9.1%
米国以外	493	645	153	31.0%
内、日本	101	120	19	18.5%
内、EM	315	428	114	36.1%
内、グレーターチャイナ	7	19	12	165.1%
内、INT	69	78	8	12.2%
ゾスパタ	56	83	27	47.7%
日本	10	11	1	6.6%
米国	36	46	10	26.9%
EM	10	20	10	99.4%
グレーターチャイナ	-	5	5	-
INT	-	1	1	-
PADCEV	30	42	12	41.9%
米国	30	42	12	41.9%
エベレンゾ	2	6	5	282.9%
日本	2	6	5	282.9%
ベタニス/ミラベトリック/ベットミガ	404	440	36	8.8%
日本	84	98	14	16.2%
米国	229	228	-1	-0.5%
EM	66	85	19	29.4%
グレーターチャイナ	4	7	2	56.9%
INT	20	22	1	5.8%
ベシケア	77	74	-3	-4.4%
日本	49	46	-4	-7.7%
米国	4	2	-2	-39.4%
EM	13	14	2	14.4%
グレーターチャイナ	2	3	1	22.3%
INT	9	9	-0	-3.9%
プログラフ	453	452	-1	-0.3%
日本	111	102	-9	-7.9%
米国	36	21	-14	-40.8%
EM	138	162	24	17.0%
グレーターチャイナ	78	96	18	22.9%
INT	90	70	-19	-21.7%
エリガード	31	-	-31	-

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
4,584	5,572	21.5%
2,386	2,880	20.7%
2,198	2,692	22.5%
402	454	12.8%
1,493	1,830	22.6%
49	70	43.6%
255	338	32.7%
238	367	53.8%
38	44	16.0%
155	200	29.3%
44	98	123.2%
0	16	-
2	9	488.4%
128	201	57.1%
128	191	49.3%
11	86	661.0%
11	41	262.8%
1,636	1,752	7.1%
351	358	2.2%
880	942	7.0%
299	356	19.1%
22	25	15.0%
85	71	-15.9%
316	161	-49.2%
185	55	-70.4%
22	12	-43.3%
62	49	-21.5%
10	8	-23.4%
37	37	-1.1%
1,827	1,926	5.5%
407	385	-5.5%
118	111	-6.1%
642	698	8.8%
342	371	8.4%
317	362	14.1%
95	-	-

注1: 個別製品の売上のうち、日本の売上は仕切価ベース

注2: EM(エスタブリッシュドマーケット): 欧州、カナダ、オーストラリア

注3: グレーターチャイナ: 中国、香港、台湾

注4: INT(インターナショナルマーケット): ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

2) 地域別売上収益

①日本

(単位:億円)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
<b>&lt;グローバル&gt;</b>				
イクスタンジ	101	120	19	18.5%
ゾスパタ	10	11	1	6.6%
エベレンゾ	2	6	5	282.9%
ベタニス	84	98	14	16.2%
ベシケア	49	46	-4	-7.7%
プログラフ (グラセプター含む)	111	102	-9	-7.9%
ハルナール	8	7	-2	-20.2%
ファンガード	15	4	-11	-70.7%

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
402	454	12.8%
38	44	16.0%
11	41	262.8%
351	358	2.2%
185	55	-70.4%
407	385	-5.5%
30	21	-28.9%
44	18	-58.3%

**<主要製品>**

スーグラ [ファミリー]	71	79	8	10.9%
内、スージャヌ	28	32	4	13.6%
レパーサ	12	15	3	25.3%
リンゼス	16	18	2	12.9%
ビーリンサイト	12	14	2	17.6%
イベニティ	69	70	1	1.6%
スマイラフ	2	6	4	179.6%
セレコックス	116	-	-116	-
ジェニナック	6	7	1	15.4%
ワクチン	0	0	0	0.0%
ゴナックス	16	13	-3	-20.3%
シムジア	25	28	3	12.3%
リビトール	29	-	-29	-
マイスリー	21	18	-2	-11.4%
日本市場の合計	769	670	-99	-12.9%

279	303	8.6%
113		
51		
64	69	7.9%
45		
248		
17	31	89.5%
189		
25	45	79.8%
79	77	-3.2%
51	50	-1.7%
100		
106		
78	67	-15.0%
2,766	2,476	-10.5%

注: 製品毎の売上の開示は仕切価ベース

②米国

(単位：M\$)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	1,089	1,221	132	12.1%
XTANDI	583	625	42	7.2%
ゾスパタ	33	42	8	24.7%
PADCEV	27	38	11	39.5%
ミラベトリック	213	208	-5	-2.2%
ベシケア	4	2	-1	-40.4%
プログラフ	33	19	-14	-41.8%
マイカミン	24	14	-10	-40.4%
アンビソーム	22	30	8	35.9%
クレセンバ	36	45	9	25.8%
レキスキャン	111	196	85	77.1%

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
4,462	4,951	11.0%
2,250	2,618	16.4%
146	182	24.6%
121	174	43.9%
829	856	3.2%
20	11	-45.3%
112	101	-9.5%
83	17	-78.9%
114	115	1.0%
160	176	10.6%
623	700	12.5%

③エスタブリッシュドマーケット

(単位：M€)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	540	591	51	9.4%
XTANDI	266	325	59	22.2%
ゾスパタ	9	15	7	79.0%
ベットミガ	56	65	9	16.2%
ベシケア	11	11	0	2.7%
プログラフ	117	123	6	5.1%
オムニック	15	17	2	12.2%
マイカミン	13	7	-6	-47.6%
エリガード	21	-	-21	-

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
2,370	2,553	7.7%
1,207	1,408	16.7%
36	75	112.3%
241	274	13.3%
50	38	-25.3%
519	537	3.5%
65	63	-3.7%
45	22	-51.2%
64	-	-

注：エスタブリッシュドマーケット：欧州、カナダ、オーストラリア

④グレーターチャイナ

(単位: 億円)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	142	164	22	15.5%
XTANDI	7	19	12	165.1%
ゾスパタ	-	5	5	-
ベットミガ	4	7	2	56.9%
ベシケア	2	3	1	22.3%
プログラフ	78	96	18	22.9%
ハルナール	37	20	-17	-46.8%
マイカミン	5	6	1	25.3%
フェブリク	6	6	1	9.7%

注: グレーターチャイナ: 中国、香港、台湾

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
593	638	7.7%
49	70	43.6%
0	16	-
22	25	15.0%
10	8	-23.4%
342	371	8.4%
108	80	-26.4%
25	34	37.7%
26	30	12.9%

⑤インターナショナルマーケット

(単位: 億円)

	21/3期 1Q	22/3期 1Q	増減	増減率
売上収益	302	278	-24	-8.1%
XTANDI	69	78	8	12.2%
ゾスパタ	-	1	1	-
ベットミガ	20	22	1	5.8%
ベシケア	9	9	-0	-3.9%
プログラフ	90	70	-19	-21.7%
ハルナール	42	43	1	2.1%
マイカミン	10	16	6	64.6%

注: インターナショナルマーケット: ロシア、中南米、中東、アフリカ、東南アジア、南アジア、韓国、輸出売上等

21/3期 通期	22/3期 期初予想	増減率 (対21/3期)
1,111	1,227	10.4%
255	338	32.7%
2	9	488.4%
85	71	-15.9%
37	37	-1.1%
317	362	14.1%
151	161	6.6%
44	47	7.3%

## 8. 連結財政状態計算書

(単位:億円)

	21/3期 期末	22/3期 1Q末	増減
<b>資産合計</b>	<b>22,736</b>	<b>22,495</b>	<b>-242</b>
<b>非流動資産合計</b>	<b>14,010</b>	<b>13,807</b>	<b>-203</b>
有形固定資産	2,646	2,697	51
のれん	2,840	2,841	1
無形資産	6,514	6,303	-211
売上債権及びその他の債権	339	328	-11
持分法で会計処理されている投資	71	80	9
繰延税金資産	542	546	4
その他の金融資産	959	915	-43
その他の非流動資産	99	97	-3
<b>流動資産合計</b>	<b>8,726</b>	<b>8,687</b>	<b>-39</b>
棚卸資産	1,641	1,573	-68
売上債権及びその他の債権	3,432	3,642	211
未収法人所得税	140	173	33
その他の金融資産	56	41	-15
その他の流動資産	197	239	43
現金及び現金同等物	3,261	3,019	-242

(単位:億円)

	21/3期 期末	22/3期 1Q末	増減
<b>資本及び負債合計</b>	<b>22,736</b>	<b>22,495</b>	<b>-242</b>
<b>資本合計</b>	<b>13,861</b>	<b>13,829</b>	<b>-32</b>
<b>親会社の所有者に帰属する持分合計</b>	<b>13,861</b>	<b>13,829</b>	<b>-32</b>
資本金	1,030	1,030	-
資本剰余金	1,778	1,777	-2
自己株式	-154	-157	-3
利益剰余金	9,533	9,460	-73
その他の資本の構成要素	1,674	1,719	45
<b>負債合計</b>	<b>8,875</b>	<b>8,666</b>	<b>-209</b>
<b>非流動負債合計</b>	<b>2,951</b>	<b>2,850</b>	<b>-101</b>
仕入債務及びその他の債務	4	3	-1
繰延税金負債	182	82	-100
退職給付に係る負債	390	384	-5
引当金	58	76	18
その他の金融負債	1,990	2,014	23
その他の非流動負債	328	291	-37
<b>流動負債合計</b>	<b>5,924</b>	<b>5,816</b>	<b>-108</b>
仕入債務及びその他の債務	1,248	1,085	-163
未払法人所得税	84	146	62
引当金	222	197	-25
その他の金融負債	1,482	1,475	-7
その他の流動負債	2,889	2,913	24

## 新薬開発状況

当社が日本・米国・欧州・中国において承認取得を目指す対象疾患での開発状況を掲載

2021年7月現在

前回の決算発表時(2021年4月)からの変更箇所を下線

### XTANDIおよび重点戦略製品(1/2)

一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/ テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	自社**/導入	備考
エンザルタミド MDV3100 (イクスタンジ)	低分子	アンドロゲン受容体阻害剤	転移性去勢感受性前立腺がん	欧州 承認(2021年4月) 中国 P-III	Pfizer	
			非転移性去勢感受性前立腺がん	P-III		
ギルテリテニブ ASP2215 (ゾスパタ)	低分子	FLT3阻害剤	急性骨髄性白血病 (寛解導入化学療法後の維持療法)	P-III	自社	
			急性骨髄性白血病 (造血幹細胞移植後の維持療法)	P-III		
			急性骨髄性白血病 (未治療、強力な化学療法不適応)	P-III		
			急性骨髄性白血病 (未治療、強力な化学療法適応)	P-III		
			小児における急性骨髄性白血病	P-III		
エンホルツマブ ペドテン ASG-22ME	抗体-薬物複合体 (ADC)	ネクチン-4を標的とするADC	白金製剤およびPD-1/PD-L1阻害剤による 治療歴のある転移性尿路上皮がん	欧州 申請(2021年3月)	自社 [Seagenと共同開発]	
			シスプラチン不適応で治療歴のある 転移性尿路上皮がん	米国 承認(2021年7月)		
			治療歴のある転移性尿路上皮がん	日本 申請(2021年3月)		
			治療歴のない転移性尿路上皮がん (一次治療、ペムプロリズマブ併用)	P-III		
			筋層浸潤性膀胱がん (ペムプロリズマブ併用)	P-III		
			その他の種類の固形がん	P- II		
			筋層非浸潤性膀胱がん	P- I		

XTANDIおよび重点戦略製品(2/2)

一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/ テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	自社**/導入	備考
ソルベツキシマブ IMAB362	抗体	抗Claudin 18.2 モノクローナル抗体	胃腺がんおよび食道胃接合部腺がん	P-III	自社 (Ganymed)	
			膵臓腺がん	P-II		
ロキサデュスタット ASP1517/FG-4592 (エベレンゾ)	低分子	HIF-PH阻害剤	慢性腎臓病に伴う貧血	欧州 申請(2020年4月)	FibroGen	アステラスの権利範囲 は、日本、欧州、独立 国家共同体(CIS)、 中東、南アフリカ等
			化学療法に伴う貧血	P-II		
fezolinetant ESN364	低分子	NK3受容体拮抗剤	閉経に伴う血管運動神経症状	P-III	自社 (Ogeda)	
resamirigene bilparvovec AT132	遺伝子治療 (アデノ随伴ウイルスを 用いた遺伝子治療)	MTM1遺伝子置換による ミオチューブラリン発現亢進	X連鎖性ミオチューブラーミオパチー	P-II	自社 (Audentes Therapeutics)	

\* 特に記載のない場合、グローバルで開発を実施。開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載。一部の地域のみで開発している品目については、その地域を記載。

\*\* 共同研究により創出された化合物を含む。

前回の決算発表時(2021年4月)からの変更点:

ギルテリチニブ(ASP2215): 2021年1月に中国で承認を取得した再発または難治性のFLT3遺伝子変異陽性急性骨髄性白血病に関する記載を削除した。

エンザルタミド(MDV3100): 転移性ホルモン感受性前立腺がんを適応症として、2021年4月に欧州で承認を取得した。

エンホルツマブ ベドチン(ASG-22ME): シスプラチン不適応で治療歴のある局所進行性または転移性尿路上皮がんを適応症として、2021年7月に米国で承認を取得した。筋層非浸潤性膀胱がんを対象としてPhase 1に入った。

Focus Area アプローチ (1/2)

Primary Focus	一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/ テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	自社**/導入	備考
がん免疫	ASP1948/PTZ-329	抗体	抗NRP1抗体	がん	P- I	自社 (Potenza Therapeutics)	
	ASP1951/PTZ-522	抗体	GITRアゴニスト抗体	がん	P- I	自社 (Potenza Therapeutics)	
	ASP9801	腫瘍溶解性ウイルス	IL-7およびIL-12を搭載した 腫瘍溶解性ウイルス	がん	P- I	鳥取大学 [共同研究により創出]	
	ASP7517	細胞医療 (人工アジュバント ベクター細胞)	WT1搭載 人工アジュバントベクター細胞	がん	P- I	理化学研究所 [共同研究により創出]	
	ASP0739	細胞医療 (人工アジュバント ベクター細胞)	NY-ESO-1搭載 人工アジュバントベクター細胞	がん	P- I	理化学研究所 [共同研究により創出]	
	ASP1570	低分子		がん	P- I	自社	
再生と 視力の維持・ 回復	ASP7317	細胞医療	網膜色素上皮細胞	地図状萎縮を伴う加齢黄斑変性、Stargardt病	P- I	自社 (Ocata Therapeutics)	
ミトコンドリア バイオロジー	ASP1128/MA-0217	低分子	PPARδ調節剤	急性腎障害	P- II	自社 (Mitobridge)	
	ASP0367/MA-0211	低分子	PPARδ調節剤	原発性ミトコンドリアミオパチー	P- II	自社 (Mitobridge)	
				デュシェンヌ型筋ジストロフィー	P- I		
遺伝子治療	resamirigene bilparvovec AT132 ***	遺伝子治療 (アデノ随伴ウイルスを 用いた遺伝子治療)	MTM1遺伝子置換による ミオチューブラリン発現亢進	X連鎖性ミオチューブラーミオパチー	P- II	自社 (Audentes Therapeutics)	
	AT845	遺伝子治療 (アデノ随伴ウイルスを 用いた遺伝子治療)	GAA遺伝子置換による GAA酵素発現亢進	ポンペ病	P- I	自社 (Audentes Therapeutics)	

Focus Area アプローチ (2/2)

Primary Focus	一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/ テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	自社**/導入	備考
(その他の Focus Area プロジェクト)	ASP3772	次世代型ワクチン (MAPSテクノロジー)	多重抗原提示システム (MAPS)技術を利用した 肺炎球菌ワクチン	肺炎球菌感染症の予防	P- II	Affinivax	
	FX-322	低分子	有毛細胞の前駆細胞活性化剤 (GSK-3阻害薬と HDAC阻害薬の併用)	感音難聴	P- II	Frequency Therapeutics	アステラスの権利範囲 は米国を除く全世界
	ASP0598	組換えタンパク	遺伝子組換えヒトヘパリン 結合性上皮細胞成長因子様 増殖因子	慢性鼓膜穿孔	P- I	Auration Biotech	
	ASP2390	次世代型ワクチン (LAMP-Vax テクノロジー)		ハウスダスト誘発アレルギー性鼻炎	P- I	Immunomic Therapeutics [共同研究により創出]	

\* 特に記載のない場合、グローバルで開発を実施。開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載。一部の地域のみで開発している品目については、その地域を記載。

\*\* 共同研究により創出された化合物を含む。

\*\*\* AT132は「XTANDIおよび重点戦略製品」一覧にも記載。

前回の決算発表時(2021年4月)からの変更点:

ASP1570: がんを対象としてPhase 1に入った。

ASP0892: ピーナッツアレルギーを対象としてPhase 1段階にある開発を中止した。

その他

一般名 開発コード (製品名)	モダリティ/ テクノロジー	薬効/作用機序	対象疾患	開発段階*	自社**/導入	備考
タクロリムス FK506 (プログラフ)	低分子	免疫抑制剤	肺移植における拒絶反応の抑制	米国 承認(2021年7月)	自社	
ミラベグロン YM178	低分子	β <sub>3</sub> 受容体作動薬	小児における神経因性排尿筋過活動	欧州 P-III	自社	
			小児における過活動膀胱	欧州 P-III		
ペフィシチニブ ASP015K	低分子	JAK阻害剤	関節リウマチ	中国 P-III	自社	
isavuconazole	低分子	アゾール系抗真菌剤	小児における侵襲性アスペルギルス症および侵襲性ムーコル症	米国 P-II	Basilea	
ASP8062	低分子	GABA <sub>B</sub> 受容体陽性 アロステリック修飾物質	オピオイド使用障害	P-II	自社	
			アルコール使用障害	P-I		
ASP1617	低分子		全身性エリテマトーデス	P-I	自社	

\* 特に記載のない場合、グローバルで開発を実施。開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載。一部の地域のみで開発している品目については、その地域を記載。

\*\* 共同研究により創出された化合物を含む。

前回の決算発表時(2021年4月)からの変更点:

ミラベグロン(YM178): 2021年3月に米国で承認を取得した3歳以上の小児における神経因性排尿筋過活動に関する記載を削除した。

タクロリムス(FK506): 成人および小児の肺移植における拒絶反応の抑制を適応症として、2021年7月に米国で承認を取得した。

bleselumab(ASKP1240): Phase 2試験で主要評価項目を満たさなかったため、生体腎移植患者における再発性巣状糸球体硬化症を対象とした開発を中止した。

## Rx+プログラム開発状況

2021年7月現在

スフィア (事業領域)	プログラム	ビジネスコンセプト	状況*	パートナー	備考
慢性疾患の 重症化予防	運動支援 ゲームアプリ	継続的に運動する必要がある方を対象とするウェアラブルデバイスを用いた運動支援スマートフォンアプリケーション	製品開発中	バンダイナムコ エンターテインメント	
	Fit-eNce	科学的エビデンスに基づいた運動メニューをその実行を支援するシステムとともに提供するサービス	地域限定販売実施中 新サービス形態開発中		
	BlueStar	糖尿病を対象としたデジタルセラピューティクス	製品開発中	WellDoc	
手術・診断精度 向上による 患者アウトカム 最大化	ASP5354	子宮全摘出術、消化器外科手術等において尿管の場所の把握が可能な精密手術ガイド	P-II		

\* 開発段階が地域ごとに異なる場合は、最も進んでいるものを記載。

### 前回の決算発表時(2021年4月)からの変更点

マイホルターII: 2021年3月に認証を取得したプログラムに関する記載を削除した。